

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)

平成24年4月27日

協議会・構成員

有田市地域公共交通会議

有田市・近畿運輸局和歌山運輸支局・県総合交通政策課・有田市連合自治会

中紀バス・みなみ交通・和歌山県バス協会・和歌山県タクシー協会

和歌山県交通運輸産業労働組合・有田振興局建設部・有田警察署

国土交通省近畿地方整備局和歌山河川国道事務所海南国道維持出張所

事業名	補助対象事業者等	事業概要	①事業実施の適切性	②目標・効果達成状況	③事業の今後の改善点
陸上交通に係る 地域公共交通確保維持事業 (地域内フィーダー系統)	中紀バス株式会社 A-1	有田市全域を運行するコミュニティバス運行	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 利用者数について、5月からのダイヤ改正、路線変更による減少が、日曜・祝日を運休としたことにより目標を下回った。また、収支率も目標を下回った要因としては、利用者の減少による運賃収入の減少が考えられる。	新たな路線の周知徹底を行うとともに、より利用頻度が高くなるようバス停の新設や細かい路線等の見直しを実施する予定。 今年度については満足度調査を実施することができなかったため、今後アンケート調査等の実施を検討。
陸上交通に係る 地域公共交通確保維持事業 (地域内フィーダー系統)	中紀バス株式会社 A-2	有田市全域を運行するコミュニティバス運行	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 利用者数について、5月からのダイヤ改正、路線変更による減少が、日曜・祝日を運休としたことにより目標を下回った。また、収支率も目標を下回った要因としては、利用者の減少による運賃収入の減少が考えられる。	新たな路線の周知徹底を行うとともに、より利用頻度が高くなるようバス停の新設や細かい路線等の見直しを実施する予定。 今年度については満足度調査を実施することができなかったため、今後アンケート調査等の実施を検討。
陸上交通に係る 地域公共交通確保維持事業 (地域内フィーダー系統)	中紀バス株式会社 A-3	有田市全域を運行するコミュニティバス運行	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 利用者数について、5月からのダイヤ改正、路線変更による減少が、日曜・祝日を運休としたことにより目標を下回った。また、収支率も目標を下回った要因としては、利用者の減少による運賃収入の減少が考えられる。	新たな路線の周知徹底を行うとともに、より利用頻度が高くなるようバス停の新設や細かい路線等の見直しを実施する予定。 今年度については満足度調査を実施することができなかったため、今後アンケート調査等の実施を検討。

事業名	補助対象事業者等	事業概要	①事業実施の適切性	②目標・効果達成状況	③事業の今後の改善点
陸上交通に係る 地域公共交通確保維持事業 (地域内フィーダー系統)	中紀バス株式会社 A-4	有田市全域を運行 するコミュニティバス 運行	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 利用者数について、5月からのダイヤ改正、路線変更による減少が、日曜・祝日を運休としたことにより目標を下回った。また、収支率も目標を下回った要因としては、利用者の減少による運賃収入の減少が考えられる。	新たな路線の周知徹底を行うとともに、より利用頻度が高くなるようバス停の新設や細かい路線等の見直しを実施する予定。 今年度については満足度調査を実施することができなかったため、今後アンケート調査等の実施を検討。
陸上交通に係る 地域公共交通確保維持事業 (地域内フィーダー系統)	中紀バス株式会社 B-1	有田市全域を運行 するコミュニティバス 運行	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 利用者数について、5月からのダイヤ改正、路線変更による減少が、日曜・祝日を運休としたことにより目標を下回った。また、収支率も目標を下回った要因としては、利用者の減少による運賃収入の減少が考えられる。	新たな路線の周知徹底を行うとともに、より利用頻度が高くなるようバス停の新設や細かい路線等の見直しを実施する予定。 今年度については満足度調査を実施することができなかったため、今後アンケート調査等の実施を検討。
陸上交通に係る 地域公共交通確保維持事業 (地域内フィーダー系統)	中紀バス株式会社 B-2	有田市全域を運行 するコミュニティバス 運行	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 利用者数について、5月からのダイヤ改正、路線変更による減少が、日曜・祝日を運休としたことにより目標を下回った。また、収支率も目標を下回った要因としては、利用者の減少による運賃収入の減少が考えられる。	新たな路線の周知徹底を行うとともに、より利用頻度が高くなるようバス停の新設や細かい路線等の見直しを実施する予定。 今年度については満足度調査を実施することができなかったため、今後アンケート調査等の実施を検討。
陸上交通に係る 地域公共交通確保維持事業 (地域内フィーダー系統)	中紀バス株式会社 B-3	有田市全域を運行 するコミュニティバス 運行	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 利用者数について、5月からのダイヤ改正、路線変更による減少が、日曜・祝日を運休としたことにより目標を下回った。また、収支率も目標を下回った要因としては、利用者の減少による運賃収入の減少が考えられる。	新たな路線の周知徹底を行うとともに、より利用頻度が高くなるようバス停の新設や細かい路線等の見直しを実施する予定。 今年度については満足度調査を実施することができなかったため、今後アンケート調査等の実施を検討。

事業名	補助対象事業者等	事業概要	①事業実施の適切性	②目標・効果達成状況	③事業の今後の改善点
陸上交通に係る 地域公共交通確保維持事業 (地域内フィーダー系統)	中紀バス株式会社 B-4	有田市全域を運行 するコミュニティバス 運行	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 利用者数について、5月からのダイヤ改正、路線変更による減少が、日曜・祝日を運休としたことにより目標を下回った。また、収支率も目標を下回った要因としては、利用者の減少による運賃収入の減少が考えられる。	新たな路線の周知徹底を行うとともに、より利用頻度が高くなるようバス停の新設や細かい路線等の見直しを実施する予定。 今年度については満足度調査を実施することができなかったため、今後アンケート調査等の実施を検討。

【各評価項目の評価基準】

①事業実施の適切性

- A…事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された(されている)。
- B…事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった(一部実施されない見込み)。
- C…事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった(実施されない見込み)。

②目標・効果達成状況

- A…事業が計画に位置付けられた目標を達成した(する見込み)。
- B…事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった(一部達成できない見込み)。
- C…事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった(達成できない見込み)。